

令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	63	学校名	県立袋井高等学校	校長名	須藤 秀幸
------	----	-----	----------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	【担当】成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	生徒の「志」を育てながら、進路実現に向けたきめ細かな進路指導を推進する。	【進路研修課】「補講や進路学習は、進路目標達成のために役立っている」と答える生徒70%以上。	生徒アンケートで78.9%	A	教員アンケートでは、「進路及び将来の職業選択に関するキャリア教育が推進されている」86.3%、「本校の進路指導について理解している」92.2%であった。教職員の進路指導に対する共通理解と協力体制が本校の充実した進路指導を支えている。次年度も、進路研修課を中心に全教職員でよりよい進路指導のあり方を検討し、実施していきたい。
		【教務情報課】「通知表、成績個票等により自分の学力と課題を把握できた」と答える生徒90%以上。	生徒アンケートで92.1%	A	成績個票では各科目の偏差値推移や偏差値分布が記載されるので、来年度も継続するとともに、迅速な個票返却をする。
		【各学年】1年:「自ら進路について考え、文理選択を行えた」と答える生徒90%以上。 2年:「自分の進路希望に合ったコース・科目選択ができた」と答える生徒90%以上。 3年:「進路実現に必要な情報を収集し、志望校合格に向けた計画と準備ができている」と答える生徒90%以上	生徒アンケートで1年生92.0% 2年生87.7% 3年生93.5% 全体91.0%	A	【1年:A】より主体的に進路について考えられるようにしたい。 【2年:B】面談等を丁寧に行い、個に応じた指導を継続する。 【3年:A】個別指導を丁寧に行い、生徒を支援した。
		【進路研修課 各教科】「外部模試等の結果をその後の学習に生かすことができた」と答える生徒が70%以上。 主な模擬試験について事前・事後の指導を行う。	生徒アンケートで72.5%	A	学年全体で受験する全ての模試において、事前事後指導を行った。年度当初、英数国の「実戦問題集」を作成し、事前指導に活用した。また、「合格ライン」を使った目標点数の設定や直し、復習問題などの指導を行っていただいた。1つずつの丁寧な指導・支援が、生徒の学力向上につながったと感じる。生徒が自信を持ち希望進路を実現できるように、次年度も充実した指導を継続していきたい。

イ	基礎・基本と自律的学習習慣を身につけるため、予習・復習の習慣と生徒自身の振り返りを奨励する。	【各学年 各教科】「自分で計画を立てて目標の家庭学習時間(平日:1・2年2時間/3年4時間、休日1・2年3時間/3年6時間)を確保できた」と答える生徒 70%以上。 「学習方法の見直しや改善ができています」と答える生徒 70%以上。	生徒アンケートで1年生 38.0% 2年生 46.4% 3年生 77.9% 全 体 53.8% 生徒アンケートで1年生 56.5% 2年生 61.5% 3年生 85.7% 全 体 67.6%	B 【1年: B】6月の家庭学習時間は平日 101 分、休日 152 分、10 月は平日 66 分、休日 178 分であった。平日の学習のあり方について見直す必要がある。 【2年: B】6月の学習時間時間は平日 97 分、休日 166 分、10 月は平日 90 分、休日 117 分と減少がみられた。定期テストや模試等に向けて、進んで学習に取り組めるよう働きかけていく。 【3年: A】夏季補講には多くの生徒が参加し、学習習慣形成・学習に対する雰囲気醸成の一助となった。一方、1・2年次までの習熟度が重要な教科科目がある。早期より学習習慣を形成させるような指導が依然として必要である。
ウ	授業研究、ICT、教育研究の知見を活用して時代に合った授業改善を推進する。	【各教科】「アクティブ・ラーニング(型)、ICT活用など教材・教え方に様々な工夫をしている先生が多い」と答える生徒 75%以上。 「積極的に発言できた」と答える生徒 70%以上。 「受け身でなく積極的に授業に取り組めた」と答える生徒 70%以上。 「授業で扱う内容に興味・関心を深めた」と答える生徒 70%以上。	生徒アンケートで 79.0% 生徒アンケートで 65.6% 生徒アンケートで 91.1% 生徒アンケートで 82.1%	B 【国語: A】生徒が興味を持てる授業や、自身のやる気を引き出す授業をさらに続けたい。 【地公: B】授業進度との兼ね合いもあり講義形式が中心なことが多いが、生徒の発言機会をできる限り作っていききたい。 【数学: A】昨年度よりも向上しているが、きちんと学習に取り組むように継続指導したい。 【英語: A】主体的に取り組む姿勢を大切にしながら、英語の技能を高めていきたい。 【理科: B】積極的な発言以外の目標は達成できた。引き続き、今後も授業内で発表や対話の機会を作っていききたい。 【保体: B】年間計画や種目選択、授業計画を工夫した結果が出たと考える。次年度は積極的に発言できる生徒を増やすために発問の工夫をする。 【家庭: B】積極的に発言できたと答える生徒が目標を下回ったので、来年度、発言の機会を取り入れたグループワーク等の工夫をする。 【情報: A】情報に興味を持ってもらえるような授業を展開したい。

		【進路研修課】「探究の時間は生徒の意識の啓発につながっている」と答える教職員 80%以上。 「探究活動をととして自分の興味や関心を深めたり、広げたりすることができた。」と答える生徒 90%以上。 校外での課題発表大会や探究型の研修会に参加する生徒 50 人以上。	教員アンケートで 86.3% 生徒アンケートで 73.6% 41 人 (1/8 現在) 自主 FW は 45 件	A	デザイン思考を用いた探究活動を始めて 3 年目になるが、毎年進化してきている。次年度も探究活動の目的や意義を全教職員で共有し、進路指導との連携を密にすることで、生徒の未来を切り拓く探究活動を展開していきたい。
		【国語科】「授業をととして、文章を的確に読み取り、場面に応じて自分の考えを話したり、書いたりする力がついた」と答える生徒 70%以上。	生徒アンケートで 87.1%	A	言語を通じた活動や、共同的な活動を通して、力を養うことができておりさらに工夫を続けたい。
		【地歴公民科】「授業、課題、定期テストなどをととして、現代の社会や歴史について考える力を身につけることができた」と答える生徒 70%以上。	生徒アンケートで 88.1%	A	目標数値は達成できたが、昨年より数値が低くなっているため、授業やテストの内容を改善していきたい。
		【数学科】「授業や課題、定期テスト等をととして、論理的に考える力が伸びた。」と答える生徒 70%以上。	生徒アンケートで 84.6%	A	目標が達成できたので、来年度も達成できるようにしたい。
		【英語科】「授業をととして、読んだり聞いたりした内容を基に、主語と動詞の整った自分の考えを伝える英文を書く力をつけることができた。」と答える生徒 70%以上。	生徒アンケートで 80.7%	A	知識技能分野の学習と表現活動を関連付け、自分の考えを適切に表現する能力の育成を継続して行う。
		【理科】「発表や対話をととして、他の意見を手掛かりに自分の考えを広げたり深めたりできた」と答える生徒が 70%以上。	生徒アンケートで 82.0%	A	全学年で目標を達成できた。今後も授業内で発表や対話の機会を作り、幅広い学力を養わせたい。

様式第3号

		【保健体育科】「体育の授業で知識と実践する態度を養うことができた」と答える生徒 80%以上。	生徒アンケートで 91.8%	A	引き続き、生涯にわたってスポーツを実践するための知識や態度を養えるよう、多くのスポーツに触れられる機会を設定したい。
		【家庭科】授業をとおして、「今の自分の実生活上のためにつながる知識や技術が身に付いた」と答える生徒 80%以上。	生徒アンケートで 93.6%	B	昨年度より 4.5%下がったので、今後この身に付けた知識を実生活で使い続けられるように、問いかけを研究したい。
エ	部活動、学校行事、HR活動、生徒会活動等をとおして文武バランスの取れた学校生活を送れるようにする。	【生徒課】県大会出場部活 10 以上。「2 時間以上の勉強と部活動の両立ができています」と答える生徒 70%以上。	県大会出場部活：11 生徒アンケートで 57.4%	C	「2 時間以上の勉強」の確保が課題。部活動顧問に協力してもらい発信したい。
		【生徒課】「学校行事や生徒会活動に積極的に参加している」と答える生徒 90%以上。 「学校行事や生徒会活動への取組をとおして創造力・企画力・運営力、協働性等が向上した。」と答える生徒 70%以上	生徒アンケートで 86.1% 生徒アンケートで 86.1%	B	今後も継続していく。
オ	挨拶、身だしなみ、言葉遣い、清掃、自律的な生活等の基本的生活習慣の確立をとおして生徒の公共性と自律心を育てる。	【生徒課】「頭髪・服装のルールを守っている」と答える生徒 95%以上。 「明るい挨拶や場面に応じて言葉遣いができている」と答える生徒 85%以上。	生徒アンケートで 96.4% 生徒アンケートで 93.3%	A	今後も継続していく。
		【生徒課】「一旦停止や並進をしないなどのルールを守って登校している」と答える生徒 90%以上。	生徒アンケートで 96.3%	A	更なる呼びかけを強化したい。
		【保健厚生課】「清掃時に級友と協力して、担当場所をきれいに清掃できた」と答える生徒 80%以上。 「みんなが使うものを大事に使うことができている」と答える生徒が 90%以上。	生徒アンケートで 96.0% 生徒アンケートで 98.1%	A	大掃除の際の、担当外の生徒の役割・居場所が今後の課題である。ほとんどの生徒が公共の精神を保っていると考えている。

力	読書、ボランティア活動、地域活動、国際交流、大学連携等をとおして地域や国際社会で活躍できる知見と豊かな人間性を育成する。	【図書課】図書館の本の貸出冊数が平均 3.8 冊以上。 「学校図書館は学習活動の充実に役立っている」と答える教職員 90%以上。 「学習活動等の学校生活に役立っている」と答える生徒 80%以上。	平均貸出冊数 3.15 冊 (1/5 現在) 教職員アンケートで 84.3% 生徒アンケートで 83.4%	B	目標に達することができなかった。図書館の充実に関しては生徒の 91%以上があてはまると回答しているのでより興味を持てる本を揃えたり、居心地のいい図書館整備に努めるとともに、授業での図書館の利用を推進するなど、来館者や貸出冊数を増やしていきたい。 また、資料の充実と周知により努めていきたい。
		【進路研修課】国際交流活動プログラムを再構築し、企画・運営する。 校外の国際交流プログラム、留学に関する情報提供を充実させる。	県主催のモンゴルや韓国での交流事業：積極的に応募したが落選。 トビタテ！留学 JAPAN 静岡県版：2 年生 1 名採用（オーストラリア バスケットボール留学 1 ヶ月） 「Power in me Program (12/24～26)」：24 名参加	A	姉妹校交流がない今年度の「Power in me Program」では、参加生徒は、楽しみながら外国人留学生との英語コミュニケーションに挑戦し、国内にいながらグローバルな経験をした。 1 月 27 日～2 月 14 日に Roseville College (オーストラリア) の生徒 2 名の短期留学を受け入れる。 次年度の姉妹校交流（4 月受入、3 月訪問）を円滑に実施したい。
		【管理職】連携大学への研究室訪問に延べ 50 人以上の生徒が参加する。	静岡理工科大学との交流プログラム@sist（研究室訪問）：84 名参加	A	次年度は 2 回目の日程を中間テスト時に改めて参加人数確保につなげる。
キ	生徒・職員の安全・安心な生活環境を整えるとともに、有用な予算の執行に努める。	【総務課 管理職】大規模地震等に対する防災意識が高まり、自分のできることを実践している」と答える生徒が 80%以上。 「危機対応時における対応の仕方を理解している」と答える教職員 90%以上。	生徒アンケートで 85.4% 教員アンケートで 86.3%	B	在校時に有事が発生した際、生徒が冷静に適切な避難を行うためには、日頃から、避難経路について十分に理解しておく必要がある。職員が的確な指示をし、生徒が安全に避難ができるよう、防災意識をより高めていきたい。 危機対応の仕方について、職員が目につく所に掲示物等を用意し、周知を図りたい。次年度はマニュアル等の周知をさらに進める。
		【保健厚生課】「心身の健康維持、増進のために積極的に取り組んでいる」と答える生徒が 80%以上。	生徒アンケートで 86.7%	A	心身の状態がなかなか安定せず、欠席・欠課が多い生徒が、規則正しい生活を送れるようになることが今後の課題である。

様式第3号

		【保健厚生課】「悩みがあるときに、学校内外に相談できる人がいる」と答える生徒が 75%以上。	生徒アンケートで 84.4%	A	各クラスや学年、部活、保健室、相談室などで、生徒とのコミュニケーションが比較的よくとれていると考えている。
		【事務室】「施設・設備・物品の整備・美化に努めている」と答える教職員、保護者 90%以上。	教員アンケートで 100% 保護者アンケートで 81.6%	B	施設整備は迅速な対応に努めたが、雨漏りなど原因が特定できず、対応が遅れたものがあつた。校内美化は技能員が計画的に実施し来校者からも賞賛された。来年度も予算の確保に努める。
		【事務室】「学校の窓口として適正な対応をしている」と答える教職員、保護者、生徒 95%以上。	教員アンケートで 100% 保護者アンケートで 90.6% 生徒アンケートで 93.1%	A	生徒アンケート、保護者アンケートで目標に届かなかったが教職員アンケートは目標を達成できた。引き続き、丁寧な対応を心掛けていく。
ク	業務の効率化と精選に努め、多忙化を解消する。	【管理職】「仕事の効率化と業務の見直しが図られ、心身の負担が軽減された」と答える教職員が 60%以上。 「必要に応じた休暇が取れる職場環境である」と答える教職員 90%以上。	教職員アンケートで 68.2% 教職員アンケートで 82.4%	B	次年度は今年度同様教職員の意見を反映した業務の見直しを継続して行う。
ケ	保護者、近隣学校、地域との連携を深めるとともに、積極的な情報発信に努める。	【総務課】「PTA総会、授業参観、地区会等のPTA活動に1回以上参加した」と答える保護者 70%以上。	保護者アンケートで 78.0%	A	今までの活動内容を見直し保護者の負担を減らしており、今後もPTA活動のスリム化を実現し、持続可能なPTA活動のあり方を検討していく。
		【総務課】「教育方針や学校生活の様子及び諸情報がよく伝わっている」と答える保護者 80%以上。 ホームページ更新を月 20 回以上。	保護者アンケートで 67.4% 月平均 15 回	B	ホームページ更新を行い、学校の様子を発信してきた。発信内容について、多様な意見を取り入れ、より見やすく分かりやすいものにしていきたい。
		【総務課 管理職】「一日体験入学に満足した」中学生が 60%以上。中学生の一日体験入学参加が 750 人以上、公開授業が 200 人以上。	99.5%の中学生が満足と回答。 一日体験入学参加者：980 人(生徒 648 人 保護者 332 人) 公開授業参加者：306 人(生徒 216 人 保護者 90 人)	A	来年度に向け、アンケート内容等を参考に内容を検討していきたい。